Fujinokuni
ふじのくにルネサンス
～人づくり・地域づくり～
Renaissance

ヒトづくりを通じて、新しい地域のあり方を創生する静岡県。
富国有徳の精神で切り開く明るい未来の背景には、ヒトと地域が生み出す創造力がある。
今回は、市場規模の縮小や経済成長率の低下など、
社会経済に多大な影響を及ぼす少子化問題への取り組みを紹介する。

静岡県と市町の輝く未来のために

ふじのくに少子化突破戦略の新・羅針盤

少子化問題を「見える化」

高齢化が進む日本において、明るい未来、持続可能な社会を築くために、少子化という人口動態とどのように向き合うのか。県は平成28年、全国に先駆けて市町の合計特殊出生率の増減要因を分析し、冊子「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」を作成、「地方公共団体における統計利活用表彰」において総務大臣賞を受賞するなど県内外から高い評価を得た。高評価のポイントは分析結果の「見える化」だ。

各市町の分析は、30の社会経済指標（正規従業員の割合、小学校の平均児童数、産婦人科の医師数、保育所などの利用児童割合、通勤時間など）をベースに、①地域の働く力、②地域のにぎわい力、③乳幼児サポート力、④子育て基盤力、⑤夫婦の協働力、⑥家族・地域の絆力という六つの地域力に分類し、その結果をチャート化。合計特殊出生率と地域力の関係性を「見える化」した。これにより従前の少子化対策に、地域の特性を踏まえた取り組みを盛り込めるようになった。県は各市町との連携を深めながら結婚、子育て、労働環境の整備などの分野で、きめ細かな支援を講じている。

社会の空気を変える試み

少子化が進行する主な要因とされる未婚・晩婚化への対応として、県は来年、結婚希望者をサポートする拠点「ふじのくに出会いサポートセンター（仮称）」を設置・運営するとともに、結婚希望者がお相手を検索できるマッチングシステムを導入して、出会いから結婚に至るまでの支援を行う。

子育てに関しては、静岡県版父子手帳「さんきゅうパパになろう！シェアワセBOOK」の作成・配布を通じて、妊娠・出産・育児の各ステージにおける父親の積極的な参加を呼び掛けている。その中で鍵となるのが父親の育休取得だ。県は、仕事と子育てを両立しやすい職場環境を整備し、父親の育休取得を促している。そのために、部下の能力を育て、「仕事と子育ての両立」への理解者となる上司「イク（育）ボス」を発掘・養成する講座や研修会を実施している。そして、このような子育てしやすい職場環境づくりのために優れた取り組みをしている企業を「ふじのくに子育てに優しい企業」として表彰している。

また、市町独自の少子化対策を支援するため、20市町に対し補助金を交付している。市町が実施する取り組み内容は、保育人材の確保から、子育て家庭の居場所提供、子育てサポーターの育成支援、子育て家庭のお出掛け環境などの整備、若年世代の移住・定住支援、就労支援までさまざまである。市町の特性に合わせた事業を支援し、全県横断的に少子化問題に取り組んでいく。

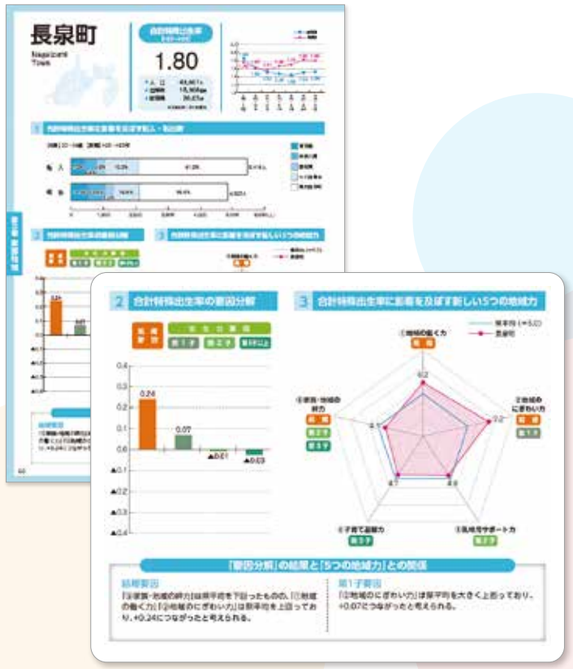
突破口への光「新・羅針盤」

少子化突破戦略事業をさらに加速させるため、県は今年、従来の冊子の改訂版である「新・羅針盤」を作成した。有識者から多くの助言を受け、大学生や市町にも協力を仰ぎ、意見交換を重ね、完成に至った。市町ごとにまとめられた市町別分析チャートには、過去30年間の合計特殊出生率の推移、県平均との比較、若者の転入・転出数、地域力チャートなどに加え、各市町の特徴的な取り組みも紹介されているため、少子化対策に取り組む全国の市町にとっても有益な情報源になる。

「新・羅針盤」では、市町ごとに合計特殊出生率に影響を及ぼす要因・課題を分析しただけではなく、合計特殊出生率と人口の社会増減との関係性を分析し、若者（20～34歳）の転入（転出）が多い市町ほど合計特殊出生率が高い（低い）傾向であることも明らかにしている。この分析結果も踏まえ、更に効果的な少子化対策に取り組んでいく。

少子化の背景には、さまざまな要因が絡んでいる。結婚、出産、子育て支援、医療・保健サービスの充実以外にも、移住・定住支援、教育の充実、性別役割分担にとらわれない意識の醸成、雇用環境、働き方改革、まちづくり、地域コミュニティによるサポートなど、総合的な対策が必要である。その中で「新・羅針盤」による分析結果の「見える化」は、文字通り突破口を示す灯火だ。出会いや結婚を望む若い世代が家庭を築き、安心して子どもを生み育てることができる「夢がかなう〝ふじのくに〟」づくりを目指す県に、少子化突破戦略の新しい風が吹き始めている。

冊子「ふじのくに少子化突破戦略の新・羅針盤」。地方創生のヒントになる情報も多く、全国から注目を集める。



少子化対策の鍵とされる父親の育児参加。協力する男性が増える一方で、父親の育休取得も課題に。

静岡県と山梨、長野県を結ぶ「中部横断自動車道」の静岡・山梨間がまもなく全線開通します。移動時間の短縮により、両県の往来が便利に。お問い合わせ：静岡県道路企画課 054-221-3359

ふじのくに子育てに優しい企業

パパが主体 家族にサンキュウ
さんきゅうパパプロジェクト

パパとママがお互いの気持ちをシェアできるメッセージ欄を設けている。

父親の積極的な育児参加を呼びかける静岡県版父子手帳。母子手帳とともに市町母子保健担当窓口で配布される。

冊子「ふじのくに子育てに優しい企業取組事例集」。具体的な事例や現場の声が多数掲載されているため、業種・業態・企業規模などを問わず、参考になる。

イク（育）ボス出前講座の様子。
企業や団体におけるイクボスの普及を支援している。